

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36351
事業名	消費者被害防止ネットワーク事業費					
評価担当課	所 属	市)市民生活部 消費生活課			電話番号	011-211-2245
施策名	犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されています					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	高齢者及び障がい者の消費者被害の未然防止、早期発見・救済を目的に高齢及び障がい福祉関係機関等(以下「関係機関」という。)との連携や啓発を図るネットワークを構築し、関係機関との定期的な情報交換や被害者情報の提供、地域での啓発講座等を行っている。 また、高齢者等を標的にした悪質商法に関する相談が依然として多く寄せられており、加えて今後、世帯の単身化や地域コミュニティの衰退により、社会から孤立した高齢者等の増加も懸念される。
	事業内容(何を実施し)	高齢・障がい福祉機関、民生委員、町内会等の関係機関・地域で活動する団体等との連携により、高齢者・障がい者の消費者被害防止ネットワーク体制を構築・拡充する。①各区に消費生活推進員を配置。地域で高齢者・障がい者対象のミニ講座を行う。②消費者被害防止活動に協力してくれる市民、企業等を消費生活サポーターとして登録。③消費者センターに専門推進員を配置し、ミニ講座や研修の企画運営、サポーターの登録・活動支援、関係機関・団体との連絡調整、必要に応じて実態調査を行う。 ①消費生活推進委員の配置:20人、ミニ講座:30回 ②個人サポーターの新規登録:73人、団体サポーターの新規登録:2団体 ③関係機関からの相談:28件、消費生活サポーター養成講座:8回、関係機関等の情報交換会、9回、みまもり通信の発行:13回、各種研修会:9回、地域活動団体向け講座:2回、その他注意喚起・情報提供:48回
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	高齢及び障がい福祉関係機関等の関係団体との見守りネットワークを拡充し、特に企業や事業者団体との連携を充実させるとともに、これまで以上にきめ細かい情報提供を行うことで、消費者支援のための機能許可をしていきたい。
	他都市の状況	東京都新宿区:悪質商法被害防止ネットワーク 東京都世田谷区:消費者ほっと協力員 神戸市:悪質商法追放モデル地区 府中市:高齢者見守りネットワーク 他、各政令指定都市でも類似のネットワーク事業や高齢・障がい者を対象とした事業を実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	11,542 千円	うち特定財源	10,091 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和5年度予算額	12,000 千円	うち特定財源	10,447 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和5年度決算額	11,685 千円	うち特定財源	10,395 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和6年度予算額	12,000 千円	うち特定財源	9,819 千円	正規職員業務量	0.5 人工

指標	アウトプット活動指標1	高齢者や障がい者を見守る立場の方へのフォローアップ講座		という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		16回	26回	25回	37回	48回	59回
	↓						
	アウトカム成果指標1	トラブルに遭ったとき、誰に相談できなかった人3.0%以下			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	3%	2.40%	3%	3%	3%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	引き続き、高齢者や障がい者を見守る立場の方へのフォローアップ講座を実施するほか、HPやXなど様々な広報媒体等を活用し、必要な情報が届くよう事業を実施していきたい。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	
来年度以降の方向性	